

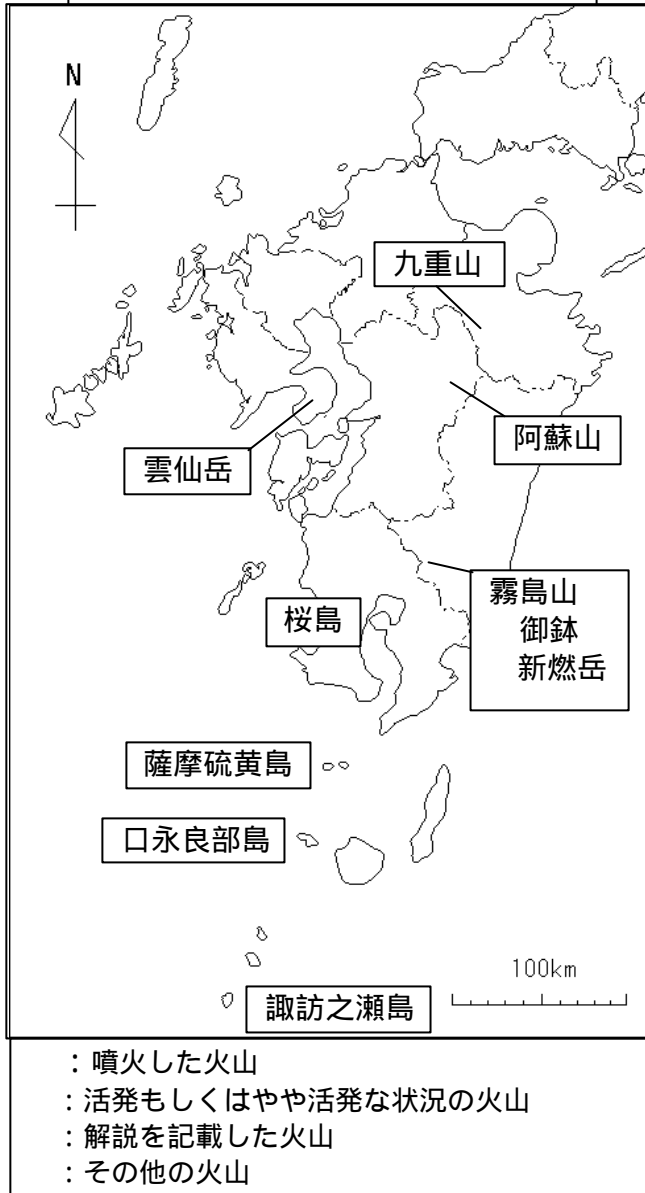
九州地方の火山活動解説資料 (平成 19 年 10 月)

福岡管区気象台
火山監視・情報センター

【10月の活動概況】

諏訪之瀬島は活発な状況が続いています。桜島では、比較的静穏な噴火活動が続いています。薩摩硫黄島及び口永良部島はやや活発な状況が続いています。

九州地方及び山口県の活火山



各火山の活動概況

九重山[静穏な状況(レベル1)]
火山活動に変化はなく、静穏に経過しました。

阿蘇山[静穏な状況(レベル1)]
火山活動に変化はなく、静穏に経過しました。
火口付近では引き続き火山ガスに対する注意が必要です。

雲仙岳[静穏な状況(レベル1)]
火山活動に変化はなく、静穏に経過しました。

霧島山
御鉢[静穏な状況(レベル1)]
火山活動に変化はなく、静穏に経過しました。
新燃岳[静穏な状況(レベル1)]
火山活動に変化はなく、静穏に経過しました。

桜島[比較的静穏な噴火活動(レベル2)]
南岳山頂火口では、爆発的噴火やごく小規模な噴火が発生しましたが、昭和火口からの噴火はありませんでした。火山性地震や火山性微動は、26日から28日にかけてやや増加しましたが、噴火活動は比較的静穏な状態で経過しました。

薩摩硫黄島[やや活発な状況(レベル2)]
噴煙活動、地震活動ともにやや活発で、火山活動はやや活発な状態で経過しました。

口永良部島[やや活発な状況(レベル2)]
火山性地震及び火山性微動は消長を繰り返しながらやや多い状態が続き、火山活動はやや活発な状態で経過しました。

諏訪之瀬島[活発な状況(レベル3)]
爆発的噴火が発生したほか、小規模な噴火が時々発生するなど、火山活動は活発な状態で経過しました。

火山情報の発表状況

火山情報の発表はありませんでした。

注1 資料中にあるレベルとは、火山活動度レベルを示しています。現在、福岡管内では8つの火山に導入しています。

この解説資料は気象庁ホームページ(<http://www.seisvol.kishou.go.jp/tokyo/volcano.html>)、福岡管区気象庁ホームページ(<http://www.fukuoka-jma.go.jp/>)でも閲覧することができます。次回の火山活動解説資料(平成19年11月分)は12月6日に公表予定です。

この資料は気象庁のほか、東京大学、京都大学、九州大学、鹿児島大学、独立行政法人防災科学技術研究所、大分県、阿蘇火山博物館のデータも利用して作成しています。

資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の「数値地図50mメッシュ(標高)」、「数値地図10mメッシュ(火山標高)」、「2万5千分の1の地形図」を使用しています(承認番号:平17総使、第503号)。